

教育長定例記者会見 会見録

日時：令和3年4月20日（火） 14時45分～

場所：教育委員室

発表項目

- ・ 第9回太平洋・島サミットを契機とした取組について（オンライン）

発表項目

○第9回太平洋・島サミットを契機とした取組について

本日は発表事項1件です。高校生が太平洋島嶼国や海に関する産業・文化について理解を深めるセミナーを実施いたします。第9回の太平洋・島サミット、テレビ会議方式となっておりますけれども、開催されますことを契機に、県教育委員会では、高校生が、SDGsの視点から志摩半島の海洋環境や文化、太平洋の海洋環境について理解を深め、日本や島嶼国が直面する様々な課題について考えられるよう、4点の取組を実施いたします。

1点目は、ALTと学ぼう！SDGsセミナーということで、4月24日の13時30分から行います。これは高校生が、海洋環境、それから島嶼国の文化について英語で学びます。SDGsの視点から、「地球温暖化による海面上昇が太平洋島嶼国に及ぼす影響と解決策」、あるいは「太平洋島嶼国と日本の友好関係」、これをテーマに英語によるディスカッションを行います。

あらかじめウェブページなどでテーマに関する情報を高校生は学んでいきます。その上で、SDGsの視点から、テーマについてALTから英語で学び、自らの意見を述べたり、英語によるディスカッションを生徒同士でも行います。セミナー終了後も、参加生徒は英語で意見や感想をメールで、セミナー参加のALTに送信し、後日ALTからも返信があるなどやりとりを繰り返します。

オーストラリアそれからニュージーランド出身のALTの方、各1名。それから、ファシリテーターとして英国出身のALTの方1名が講師になります。参加は、希望する高校生、県立高校生45名です。自宅からオンラインで参加いたします。ここの7階の第1会議室でALTがファシリテーターとして設定をした場面がございます。

2点目が、三重県高校生海洋環境セミナーということで4月28日の、15時50分から実施をいたします。

志摩半島に位置する鳥羽高校、志摩高校、水産高校の3校の参加希望生徒が、志摩半島の自然環境の特徴、地元の水産業について学ぶというものです。参加生徒は、講師があらかじめまとめたパワーポイントの資料を事前に学習をしておきます。

当日講師から志摩半島の自然環境の特徴、あるいは水産業について学び、自らの意見を述べます。そのうえで、その学びを活かして、各学校で地域課題をテーマとした探究的な活動

を行うというものです。次のページですけれども、講師は三重県立博物館の学芸員の方をお願いしております。参加者は鳥羽高校3名、志摩高校3名、水産高校8名で、いずれも各学校からオンラインで参加をいたします。

3点目が水産高校とパラオ高校の生徒の交流です。6月から開始予定で、月1回程度を予定しております。水産高校は平成9年にパラオ共和国のパラオ高校と姉妹提携をしております。水産高校の実習船「しろちどり」の国際航海実習時にこれまで21回パラオに寄港して、パラオ高校の生徒さんと交流をしております。現地では「しろちどり」の船内案内、食文化の交流、あるいはスポーツを通じた交流等を実施してきました。今回、サミット参加国にパラオ共和国が含まれていることを契機に、この水産高校に水産資源科アクアデザインコースというのがあるんですけれども、今回はその2年生8名が「アクアデザイン」の授業で、SDGsの視点で海洋環境、水産業、海の生物、パラオオウムガイというのがあるんですけれども、オウムガイの中でも最大の種ということです。パラオ高校の生徒とオンラインでの意見交換を月1回程度、6月から実施していくというものです。この水産高校のアクアデザインコースの2年生8名は、さっきの2番の学びのほうにもですね、(4)の対象者の水産高校8名ということで、同じ、そちらでも学ぶということです。この3番の交流に先立ち、3月17日には鳥羽水族館でパラオオウムガイに関する探究学習を実施したところです。

最後4点目が、文部科学省でスーパーサイエンスハイスクール（SSH）という指定校があるんですけれども、三重県で指定されている6校、理数科設置校における海洋問題に関する研究ということで、5月8日に実施をする予定です。

海洋環境に興味を持つ、SSHの指定校、理数科設置校の生徒が、三重県の海洋環境と水産業の現状と課題に関する講義を受けて、ディスカッションを行うというものです。そのうえで毎年8月上旬に、伊勢高校が行っている乗船実習に参加をいたします。これは三重県の水産研究所で、調査船「あさま」を所有しているんですけれども、その「あさま」に乗船して、水質とかプランクトンの測定などをおして、伊勢志摩地域の水産業について学ぶというものです。当日の講師は三重県水産研究所の職員の方をお願いしております。参加のほうは15名から20名程度ということです。

私の方からは以上です。よろしく願いいたします。

発表項目に関する質疑

○第9回太平洋・島サミットを契機とした取組について

(質) 順番にですけれども、まず全体的なところで、島サミットに関する4つのイベントというのは、テレビ会議方式って決まる前から予定されていたものなんですか。

(答) そうです。

(質) じゃあもともとあったものなんですか。

(答) そうですね、この太平洋・島サミットを契機にこういったことを取組もうというところで、いずれも初めての取組なんですけれども、元から計画していたものです。

(質) わかりました。1個目のALTのところですけども、高校生は希望制ですか。

(答) 希望制です。

(質) で、45名というのは何校から。

(答) 9校です。はい、9校から45名です。

(質) 県立高校の生徒であれば誰でも申し込めるんですよね。

(答) そうです。

(質) ALTの先生はどここの学校の方ですか。

(答 高校教育課) 菰野と松阪工業の。

(質) どちらのかたが。

(答 高校教育課) ニュージーランドが菰野高校です。オーストラリアが松阪工業高校です。ファシリテーターの英国出身のALTが、津東高校と高校教育課に所属しています。

(質) 津東ですね、わかりました。3個目の水産高校とパラオの関係ですけど、姉妹校提携は平成9年で間違いないですか。平成8年が確か友好提携だったと思うんですけど。

(答) そうですね。高校同士の提携は平成9年です。

(質) ちなみに何月かってわかりますか。提携したのは。

(答 教育長) わかる。何月かわかる。

(答 高校教育課長) 今、ちょっと。 ※後に、「2月」と回答

(答 教育長) ちょっと確認します。すみません。

(質) 初回はいつですか。6月の。

(答 教育長) えっとですね、具体的にはまだちょっと今調整中で、6月にはしたいんですけどちょっと日程までは決まってないです。

(質) 3月まで月1回っていうことでいいですか。来年度の。

(答 教育長) その予定ですね。はい。

以上、14時56分終了